

## 令和4年度 第1回 学校運営協議会議事録

校名	大阪府立大阪わかば高等学校
校長名	大西 俊猛

開催日時	令和4年7月29日(金) 15:30~17:00
開催場所	府立大阪わかば高等学校 会議室
出席者(委員)	山本 義彦会長、榎本 欣弥副会長、榎井 縁委員、北口 英晃委員、末 廣行委員、筋原 章博委員
出席者(学校)	大西 俊猛(校長)、長谷川史子(教頭)、石川 良隆(事務長)、松本展幸(首席)、石井 悠太(首席・生徒部長)、杉原 陽子(教務部長)、高野 雄平(進路部長)、平川 誠(クラス主担)、勝矢 裕貴(教諭)、浦野 泰地(教諭)
傍聴者	
協議資料	令和4年度 学校経営計画に基づく本年度の取り組みについて
備考	

議題等(次第順)
<p>(1)校長挨拶</p> <p>(2)委員・事務局員等紹介</p> <p>(3)資料確認</p> <p>(4)使用教科書選定理由書について</p> <p>(5)会長等選出</p> <p>(6)協議：令和4年度 学校経営計画に基づく本年度の取り組みについて</p> <p>(7)校長謝辞</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>○会長・副会長の選出について</p> <p>山本 義彦委員を会長、榎本 欣弥委員を副会長とする。</p> <p>○大阪わかば高校の概要について(学校長より)</p> <p>○令和4年度学校経営計画について(学校長より)</p> <p>○令和4年度学校経営計画について(各部長より達成目標提示)</p> <p>○委員からの意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪わかば高校に最大何年在籍することができるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→最大在籍年数に関する記載は学則にない。</li> </ul> </li> <li>・日本語指導を必要とする生徒は生野区に多くみられるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→大阪の各地域で独自に日本語指導を行っており、生野区に日本語指導を必要とする</li> </ul> </li> </ul>

生徒が偏在している訳ではない。

- ・4月より大阪わかば高校の教員との交流機会があり、各教員の生徒の実態把握の高さに驚いた。他者に勧めることのできる高校と確信した。また、他者から信頼される生徒の姿を見て、大阪わかば高校の雰囲気を感じ取ることができた。
- ・大阪わかば高校の多文化共生は全国的に注目されており協力していきたい。
- ・大阪わかば高校へ進学を希望する生徒が本校（中学校）にもいる。大阪わかば高校があることで保護者が進路に対して前向きになっているように感じる。
- ・多文化共生の視点で日本語を母語とする生徒がどのように学び、何を感じるかに注目していきたい。
- ・勝山高校を引き継いだ大阪わかば高校に期待しているが、まだ、大阪わかば高校の知名度が低いように思う。中学校に大阪わかば高校を知ってほしい。
- ・大阪わかば高校の取り組みについて知ることができた。今後さらに知名度をあげてほしい。
- ・多文化共生のモデル校として頑張ってもらいたい。
- ・高校を中退した若者がキャリア形成に苦戦する現状がある中、大阪わかば高校があることはとても重要なことと感じた。今後も行政と連携してほしい。
- ・中学校も大阪わかば高校と同様、日本語指導を必要とする生徒が増加傾向にある。そのような中、日本語指導を必要とする生徒が日本語を母語とする生徒と同レベルで日本語を話すことは難しい。そのため、大阪わかば高校のように日本語指導を必要とする生徒を受け入れる高校はありがたい。また、朝起きる事が苦手な生徒にも選択肢となるなど、生徒の多様性を認める学校。そのために大変さもあると思うが、頑張ってもらいたい。

#### 次回の会議日程

日時	令和4年12月16日（金）15時30分～予定
会場	大阪府立大阪わかば高等学校 会議室